

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
II-1-(4)-④ 総合的な災害 対策の 推進	1	⑥ ⑩ ⑬	浸水対策事業	下水道計 画課	近年、集中的な 豪雨に起因する浸 水被害が増加して いる。 浸水被害を抑制 するため、公共下 水道の整備を進 め、流域全体の浸 水に対する安全度 の向上を図る。	浸水被害の抑制 (累計)	目標	1 地区	3 地区	5 地区	重点整 備地区 (9地区) の雨水 整備 (R7年 度)	継続	2,850,000	2,930,000	維持	165,200	順調	引き続き、計画的に整備を 進める。	順調	今後も整備箇所ごとの現場 の状況に応じた最も経済的かつ 効率的な方法を検討し、整 備を行っていく。
							実績	1 地区												
							達成率	100.0 %												
II-1-(4)-⑤ 公共施設など の耐震化の推 進	2	⑥ ⑨ ⑩ ⑬	地震対策事業 (水道施設)	計画課	大規模な地震が 発生した場合にお いても、安全で安 定的な給水を確保 するため水道施設 の耐震化を実施す るもの。	浄水施設耐震化率 配水池耐震施設率	目標	浄水 59.2% 配水池 55.7%	浄水 59.2% 配水池 55.7%	浄水 59.2% 配水池 57.7%	浄水施 設耐震 化率 77.5% (R10年 度) 配水池 耐震施 設率 60.1% (R7年 度)	継続	78,964	258,001	増額	4,610	順調	耐震化計画に基づき、計画 どおり耐震化を実施してい く。	順調	水道施設及び下水道施設に ついて、引き続き、計画どお り耐震化を実施していく。
							実績	浄水 59.2% 配水池 55.7%												
							達成率	100.0 %												
II-1-(4)-⑤ 公共施設など の耐震化の推 進	3	⑥ ⑨ ⑩ ⑬	地震対策事業 (下水道施 設)	施設課	大規模な地震が 発生した場合にお いても、最低限の 下水処理が行える ように下水道施設 の耐震化を実施す るもの。 浄化センターに 近接するポンプ場 や災害拠点病院な どから排水を受け る重要な15ポン プ場の耐震化に取 り組む。	重要な15ポンプ場 の耐震化率	目標	20.0 %	46.7 %	53.3 %	重要な 15ポン プ場の耐 震化率 73.3% (R7年 度)	継続	190,000	150,000	減額	10,690	順調	引き続き浄化センターに近 接するポンプ場や災害拠点病 院などからの排水を受ける重 要な15ポンプ場の耐震化を優 先的に進める。	順調	水道施設及び下水道施設に ついて、引き続き、計画どお り耐震化を実施していく。
							実績	20.0 %												
							達成率	100.0 %												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
II-3-(4)-② 国際協力・交流の推進	4	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬	上下水道技術 の国際協力	海外 事業 課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市など）への職員派遣や海外からの研修員受入などにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。 併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	海外からの研修員受入人数	—	目標 380 人	380 人	100 人	海外の技術者の育成・世界の水環境改善に貢献	継続	72,982	61,094	減額	27,030	遅れ	引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受入によって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。 また、国際技術協力を通じて人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上など人材育成にも寄与する。 北九州ウォータープラザの一部機能の廃止により、下水の研修員受入人数を見直し、令和5年度の目標を100人とした。	遅れ	日明浄化センター（ピジターセンター）などの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受け入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。
III-1-(3)-① 安全で安定しておいしく飲める水道の整備	5	⑥ ⑨ ⑪ ⑬	配水管更新事業	計画 課	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解消や管破損事故を防止し、安全で安定的な給水を確保する。	配水管の効率的・計画的な更新（累計）	—	目標 38.5 km	77 km	113.0 km	185km (R7年度)	継続	5,615,056	5,242,727	減額	296,125	順調	アセットマネジメントの手法を取り入れた第六期配水管更新計画に基づき、更新を実施する。	順調	配水管更新事業について、第六期配水管更新計画に基づき、計画どおり更新を実施していく。
III-1-(3)-③ 快適で良質な生活環境をつくる下水道の整備	6	⑥ ⑪ ⑬ ⑭	合流式下水道改善事業	下水道 計画 課	合流式下水道で整備された地区は、大雨時に雨水で希釈された未処理下水の一部が川や海に流れ出ることがある。 放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減するため、合流式下水道の改善に努め、良好な水環境をつくる。	良好な水環境の実現（合流改善達成率 R5：100%）	—	目標 84.0 %	93.0 %	100.0 %	合流改善の達成（100%）（R5年度）	継続	1,600,000	1,600,000	維持	121,150	順調	引き続き、計画的に整備を進める。	順調	今後も整備箇所ごとの現場の状況に応じた最も経済的な方法を検討し、整備を行っていく。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
VI-3-(3)-④ 下水汚泥などの循環利用	7	⑨ ⑩ ⑫	下水道資源の有効利用	施設課	下水汚泥のバイオマスエネルギーとしての燃料化や、さまざまな資源の有効利用を行う。	下水汚泥の有効利用率	100% (R1年度)	目標 100.0 % 実績 100 % 達成率 100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100% (毎年度)	継続	1,906,447	1,951,410	維持	127,275	順調	引き続き、下水道資源を有効利用していく。	順調	引き続き、下水道資源を有効利用していく。
VII-1-(3)-② 上下水道、消防、交通などの分野における国際協力の推進	8	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	上下水道技術の国際協力	海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市など）への職員派遣や海外からの研修員受入などにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理に関する指導を行うこと、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。 併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	海外からの研修員受入人数	—	目標 380 人 実績 28 人 達成率 7.4 %	380 人	380 人	100 人	海外の技術者の育成・世界の水環境改善に貢献	継続	72,982	61,094	減額	27,030	遅れ	引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受入によって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。 また、国際技術協力を通じて人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上など人材育成にも寄与する。 北九州ウォータープラザの一部機能の廃止により、下水の研修員受入人数を見直し、令和5年度の目標を100人とした。	やや遅れ	国際協力事業については、日明浄化センター（ビジターセンター）などの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受け入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。 海外水ビジネスについては、北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネス対象国に発信するとともに、アジア低炭素化センターと協力しつつ、受注拡大を目指す。
							市が関与するビジネス案件数	—	目標 6 件 実績 6 件 達成率 100.0 %	6 件	6 件	6 件	海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献	継続	114,075	115,108	維持	49,870	順調		
9	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	海外水ビジネスの推進	海外事業課	上下水道分野などの海外水ビジネスは、今後も人口増加や都市化の進展により市場の拡大が見込まれ、国の成長戦略においても、水分野等のインフラシステム輸出を推進するとされている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて「ウォータープラザ北九州」を活用し、水ビジネスに向けた取組を進める。	市が関与するビジネス案件数	—	目標 6 件 実績 6 件 達成率 100.0 %	6 件	6 件	6 件	海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献	継続	114,075	115,108	維持	49,870	順調	国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。 併せて、ビジターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標	
VII-2-(1)-① アジア 低炭素 化セン ターを 核とし た都市 インフ ラビジ ネスの 推進	10	⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	海外水ビジネ スの推進	海外 事業 課	上下水道分野な どの海外水ビジネ スは、今後も人口 増加や都市化の進 展により市場の拡 大が見込まれ、国 の成長戦略におい ても、水分野等の インフラシステム 輸出を推進すると されている。本市 では、平成22年に 「北九州市海外水 ビジネス推進協議 会」を設立。官民 が有する技術力や ノウハウを結集 し、計画づくりか ら設計、建設、維 持管理、事業運営 まで、地場企業に よる水ビジネス案 件の受注を目指し て事業を展開。併 せて「ウォーター プラザ北九州」を 活用し、水ビジネ スに向けた取組を 進める。	市が関与するビジ ネス案件数	—	目標	6 件	6 件	6 件	海外水 ビジネ スを通 じた地 元企業 の振興 と国際 貢献	継続	114,075	115,108	維持	49,870	順調	国際技術協力で培った信頼 関係のもと、官民の技術やノ ウハウを結集した「北九州市 海外水ビジネス推進協議会」 を軸に、地元企業の水ビジネ ス展開を積極的に支援する。 併せて、ビジターセンター など水ビジネスの国際戦略拠 点を活用し、地元企業の技 術・製品を国内外に広く情報 発信する。	順調	北九州市海外水ビジネス推 進協議会との連携を深めなが ら、国際戦略拠点を活用し、 本市及び市内企業の上下水道 に係る技術や製品をアジアを 中心としたビジネス対象国に 発信するとともに、アジア低 炭素化センターと協力しつ つ、受注拡大を目指す。
								実績	6 件												
								達成率	100.0 %												